

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことば療育ルームいろは		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 1日 ～ 令和 7年 3月 8日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	102名	(回答者数) 83名
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日 ～ 令和 7年 3月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別性の高い支援を提供できる	有資格者（言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・保育士・教諭）を多く配置し、基本的に1対1の個別療育を実施している。	個別療育に注力できるよう、施設内の環境（個室の確保等）を進めていく。
2	専門性の高い療育を提供できる	フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを偏りなく行い、目標を明確にしている。また、目標に合わせた活動を実施している。	専門分野の知識や技術を向上できるよう、定期的な研修を継続し、モニタリングや個別支援会議以外の場で、職員間の意見交換を積極的に行う機会を設ける。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の少なさ	個別の療育を実施していること、利用者数が多いことにより、皆様へ家族支援プログラムを実施することが難しい。	送迎や面談時に、伺った困りごと等に対して、個別に対応させていただきます。
2	非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練についての周知の甘さ	必要な訓練に関しては、定期的の実施をしておりますが、周知ができていなかった。	Instagramで発信するとともに、LINE等も活用しながら、周知に努めていきます。
3			